

# 函館フルマラソン何とか完走できました！！

応援、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

7月1日（日）は朝から大雨、本当に函館マラソンを開催するのだろうかと不安をいだきながら千代台陸上競技場に行きました。着くとたくさんの出場選手、係員、ボランティア、応援の人たちがいて、やはり開催するのだと実感しました。ハーフが9時スタート、フルが9時10分スタートでしたが、開会式のために8時30分までに競技場のフィールド集合でした。そのため30～40分間のあいだ、出場者はずぶ濡れになりながらスタートを待たなければならず、かなり気がめいました。しかし予定通りのスタート。

去年は28km地点で両足がケイレンをおこして棄権したので、今年はどんなことが起こってもゴールまでたどり着こうという固い決意のもと、スタートしました。雨降りしきる中、20kmくらいまでは1kmにつき6分15秒くらいのペースで抑えて順調に走っていたのですが、昨年より早く22km地点で両方の大腿部がケイレンをおこし始め、そこからは歩いたり、走ったり何とかごまかしながら走り続けました。「絶対、這ってでもゴールします!!」と公言していましたので、棄権は考えませんでした。途中、大変な雨にも関わらず、たくさんの方々から声援を受けました。二つの幼稚園（遺愛幼稚園・遺愛旭岡幼稚園）の園児・保護者・教職員の皆さん、遺愛女子中学・高校の生徒・保護者・教職員の皆さんの応援に本当に支えられました。オリジナルの大きく『遺愛』と書いたピンクのTシャツを着て走ったので、一般市民の皆さんの応援もたくさんいただきました。「遺愛、がんば！！」「遺愛さん、頑張ってください！！」というあたたかい声援をたくさん受けました。「マラソンだけでなく、市民に期待されている遺愛の一員として本当に頑張らなくちゃ！！」という強い思いを持ちました。結果は、競技場の門が閉まるギリギリに5時間18分25秒でゴールできました。何とか最後まで走り切るという公約を実現できてホッとしました。



数日後、幼稚園の園児たちから、手づくりの金メダル、走っているときの写真、手書きの御手紙をいただきました。その優しさに、ほんとうに涙が出そうになりました。

この大会では遺愛の陸上部員はもちろんですが、遺愛の40人の生徒がボランティアとして、ずぶ濡れになりながら、会場の清掃などに当たってくれました。感謝です。 2018年7月9日（月）